

薬局 Back Number

バックナンバーのご案内

定価 2,200円
(本体2,000円+税10%)



5月号 vol.75 no.6



腸内細菌となかよく 生きて腸までとどく薬学管理

整腸薬やプロバイオティクス食品の普及により、腸内細菌は一般の人々にとっても身近な存在です。そのため、整腸薬の使用だけでなく、ヨーグルトや乳酸菌飲料などのプロバイオティクス食品に関する患者からの質問、食事指導、薬剤による腸内細菌叢の変化、腸内細菌が薬剤の代謝に与える影響など、薬剤師が健康や薬剤にまつわる相談で腸内細菌の知識を求められる場面は意外と多いと思われます。

そこで、本特集では、腸内細菌の生態や人体とのかかわりなどの基本から、整腸薬の使い方、薬剤や治療への影響、食事指導など臨床につながる実践まで幅広い内容まとめました。また患者へのアドバイスなど薬剤業務に役立つ内容をQ & Aで紹介しています。腸内細菌を通じて患者の健康を支えるための情報が詰まった一冊です。

4月号 vol.75 no.5



ストップ! CKD 「腎臓を守る」包括的な視点

腎臓は高血圧や心不全、糖尿病などのさまざまな疾患から影響を受けてその機能が低下します。一方、腎機能低下が他臓器に影響を与えて検査値に異常が生じる場合もあります。そのため、腎機能の低下を防ぐには、腎臓と生理機能・他疾患の関係を理解したうえで薬学的介入を行うことが欠かせません。

本特集は、「腎機能とは何?」「腎機能と疾患の関係は?」という病態の理解につながる基礎から、腎機能低下を防ぐための治療目標や、腎障害が進行し薬物治療が必要とされる患者の薬学管理上の注意点など、CKD患者をサポートするうえで必要不可欠な知識を、わかりやすく丁寧に解説しました!

3月号 vol.75 no.3



微量元素 みいつけた 生理作用・疾患・くすりと食品にクローズアップ!

薬剤師が微量元素に関わる場面は、欠乏症の治療や微量元素を補充以外の用途で用いる薬剤、サプリメント、食事指導など多岐にわたります。現場で出会う微量元素にまつわる病態や製剤を正しく理解するには、体内での各微量元素のはたらきを知ることが必要です。

そこで、本特集では体内動態や抗酸化作用などの生理学的な解説から始め、微量元素の知識が臨床につながるよう、場面や原因ごとの欠乏症・過剰症とその治療・予防方法などについて解説します。人体に含まれる量はわずかながらも、健康に欠かせない微量元素の重要な役割と、疾患およびその治療とのつながりを踏まえた薬学的なアプローチにつながる特集です。

2024年2月号 vol.75 no.2

子どものための ステロイド外用剤のレシピ

2024年1月号 vol.75 no.1

基礎薬学とエビデンスから
おくすり比べてみました

2023年12月号 vol.74 no.13

2023年になにあった? 今年注目の診療ガイドライン&新薬・新規効能・新剤形

2023年11月号 vol.74 no.12

転ばぬ先の漢方薬 脱・介護! フレイル・ロコモ・サルコペニア対策の新たな一手

2023年10月号 vol.74 no.11

ひとりでできるもん 薬剤師のものさし
先輩が使ってる評価基準や情報源をまとめました

2023年9月号 vol.74 no.10

めまいを起こす薬・治す薬 原因・症状のおさらい&薬剤性めまいを見逃さない

2023年8月号 vol.74 no.9

身につく! 検査値のチカラ 薬学管理・服薬指導・記録にどう活かす?

2023年7月号 vol.74 no.8

なぐれ 循環を止めるな! 血液凝固とくすり

年間購読、バックナンバーのご注文は、最寄りの書店または(株)南山堂 営業部へお申し込みください。



南山堂

〒113-0034 東京都文京区湯島4-1-11
TEL 03-5689-7855 FAX 03-5689-7857 (営業)

URL <http://www.nanzando.com>
E-mail eigybu@nanzando.com

2026/09/21 12:55:35